



ほっとほっとタイムズー第3号ー

2026.9.8

井荻小学校 特別支援教育校内委員会
教育アドバイザー住谷陽子

夏休みが終わり、子どもたちが元気に学校に帰ってきました。

夏休みの間、いかがお過ごしだったでしょうか。ご両親とお仕事の家庭も増えている、夏休みの水泳教室もない、暑くて外遊びもできない。うちにいて子どもができる事って何だろう。今の世の中、どうしてもゲームや YouTube などに頼る時間が増えるのではないのでしょうか。保護者の方も、家に子どもを一日置いてお仕事に向かうには大変だったのではないかとずっと気になっていました。

保護者の方々ご自身の夏休みの思い出はどんなものですか？ICT などのない時代、自由な時間がたくさんあると、外に出て虫を探したり草で遊んだり、あるいはいらなくなった紙や布でくだらないもの？を作って遊んだり。実はそうした中で興味関心が膨らんだり創造性がはぐくまれたりして、それが大事な成長につながった気がするのです。今、世の中で活躍している方々から、そうした話をよく聞きます。

では、今の子どもたちは、自由な生活の中でどんな力を育てているのでしょうか。

ICT が子どもに与える影響については、現在様々な意見が出ています。手軽にたくさんの知識を見つけ出すことができる・自分の伝えたいものを写真にとることで、簡単に思いを伝えることができる・文章を作るときもパソコン上で構成することができる・いちいちメモしなくても写真を撮ることでメモすることができるなど、便利なことは山ほどあります。そしてまた、今の世の中、ICT が使えないと生活にも困るほど、生活に必要なものになってきています。しかしまた、その弊害を訴える声もたくさん出てきました。特に、成長の真ただ中にいる子どもたちにとっての影響は様々語られています。一部の国々では子どもには使わせないと決めた国もあるようです。

先日、職員の間でも話題になりました。「書くのは面倒だからとすぐタブレットに頼りたがるけど、いいのかな」「実際に目で見て手を動かし、なんなら声に出して言ってみて耳からも情報を伝える。五感を使うほうが覚えるのではないかな」「ネットを使うようになって、考えることをめんどろがるようになった気がする」「すぐに答えが出ないといらいらする子がいる」などなど。

最近の AI の進歩は目覚ましく、ついていくのが大変です。感想文でも作文でも、いくつか条件を出せば勝手に作ってくれます。文の書き方を指導すること自体、悩んでしまいます。でも、それなら文を作る学習はさせなくてよいのでしょうか。それは違うと思います。自分の思いをきちんと表現する力がないと、生きていくのが本当に苦しくなるはず。また、大人の世界でも、旅行計画など実に簡単に作ってくれるけど、AI は最近のことについては苦手なので最後には自分で確かめることが必要と言います。それを使う人間が、AI 任せにしない判断力をつけておかないと大変だということです。

子育てが難しい世の中になってきています。何が正しいかはなかなかわかりませんが、お互いに思っていること、悩んでいることをおしゃべりしませんか？井荻小学校では、クラス、学年を超えて気軽にしゃべりする機会を年3回、計画しています。今年度の2回目は、**9月11日(金) 中学年保護者会の後、4:00 頃**からを予定しています。どなたでも参加できます。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。お待ちしております！

